

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
【発行日】 令和 5 年 9 月 26 日 (2023.9.26)

【公開番号】 特開 2023-123339 (P2023-123339A)
【公開日】 令和 5 年 9 月 5 日 (2023.9.5)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2023-167
【出願番号】 特願 2022-173327 (P2022-173327)
【国際特許分類】

H 0 1 Q 15/14 (2006.01)

B 3 2 B 7/025 (2019.01)

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

【F I】

H 0 1 Q 15/14 Z

B 3 2 B 7/025

B 3 2 B 15/08 E

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 9 月 15 日 (2023.9.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

面状の誘電体と、

前記誘電体の第一面上に設けられ、形状の異なる複数の金属パターンを有するスーパーセルと、

前記誘電体において、前記第一面と反対側の第二面上に設けられた金属層と、

前記スーパーセルを覆うように配置され、表面における純水接触角が 90° 以上である防汚層と、

を備え、

前記防汚層の誘電率 ϵ_r が 2.9 以下であり、

平面視において、前記防汚層により前記スーパーセルが視認できなくなっている、

ミリ波反射建装材。

【請求項 2】

前記誘電体と前記防汚層との間、および前記スーパーセルと前記防汚層との間に位置する接着層をさらに備える、

請求項 1 に記載のミリ波反射建装材。

【請求項 3】

前記防汚層がフッ素系材料またはシリコン系材料を含有する、

請求項 1 に記載のミリ波反射建装材。

【請求項 4】

前記防汚層は、

表面における純水接触角が 90° 未満の基材と、

前記基材上に設けられ、表面における純水接触角が 90° 以上の表層と、を有する、請求項 1 に記載のミリ波反射建装材。

【請求項 5】

前記基材が多孔質構造を有する、

10

20

30

40

50

請求項 4 に記載のミリ波反射建装材。

【請求項 6】

前記防汚層の表面ヘイズが 70 % 以上である、
請求項 1 に記載のミリ波反射建装材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、面状の誘電体と、誘電体の第一面上に設けられ、形状の異なる複数の金属パターンを有するスーパーセルと、誘電体において、第一面と反対側の第二面上に設けられた金属層と、スーパーセルを覆うように配置され、表面における純水接触角が 90 ° 以上である防汚層とを備えるミリ波反射建装材である。

防汚層の誘電率 ϵ_r は、2.9 以下である。平面視において、防汚層によりスーパーセルが視認できなくなっている。

10

20

30

40

50